

主な意見

A 防災

	意見
強み	まだ近所のつながりが残っているところも多い
	山など緑が多く自然豊かな環境
弱み	変えるのをめんどくさがる人多い
	防災を自分事として考えてない
理想	地震がおきてもほとんどの人が自宅で生きていける
	近所の人が国籍とか関係なく助け合ってる
解決方法 (市民)	自分ごと
解決方法 (地域)	ハザードンの取得。情報の一元化
解決方法 (行政)	近隣県と協議し、相互助け合いでのインフラ整備

B 健康

	意見
強み	温泉がある
	ウォーキングコース、ランニングコースがある公園がある
弱み	大きい広い公園が近くにほしい
	地域のサロン会場へ自ら行けない高齢者がいる
理想	無人運転の乗り物で自分が運転しなくても移動できる
	スポーツ（くのいち）の活動の中で、いろんな人（子ども・大人）と関りを増やす
解決方法 (市民)	小さい子たちにサッカーの楽しさを教える
解決方法 (地域)	課題と取り組みを全員が共有すること
解決方法 (行政)	市（長）が明確なビジョンを示すこと

C 高齢者福祉

	意見
強み	生涯現役
	いきいきサロンが開催されている（居場所がある）
弱み	農地の管理ができない
	交通が不便
理想	農業に関心を持ってる若い人を地域へ来るように
	誰かの「できない」を誰かの「できる」で解決
解決方法 (地域)	若者がチームで農業する仕組み
解決方法 (地域)	比べることなく、共に生きることを考える、特に両隣と
解決方法 (行政)	民生委員を若者にもっと知ってもらう

D 交通

	意見
強み	主要都市から近い
	自転車走れる、走りやすい
弱み	道の駅 伊賀らしさがほしい
	バスの経路
理想	使いたい時に使える交通手段
	電車やバスの本数が増えている
解決方法 (市民)	観光受け入れ・民泊・体験
解決方法 (地域)	伊賀へ初観光に来てくれた方々へのサービス ex.忍者体験?の無料
解決方法 (行政)	他地域と連携できることは連携していく

E こども

	意見
強み	元気・素直・純粹
	自然豊か
弱み	学校が少ない
	産婦人科が少ない(1つ?)
理想	伊賀で就職する道がたくさんある
	安心して子どもが産める
解決方法 (市民)	子どもたちへの指導など
解決方法 (地域)	地域での子育ての活性化
解決方法 (行政)	特色ある教育

F 住民自治・市民活動

	意見
強み	住民自治協議会で学習支援、地域食堂に取り組んでいる
	協力すれば出来ることが増える
弱み	若者の流出
	過疎高齢化で共助が成り立たない集落が増えてきている
理想	若い人が自治協で自由に参加活動できる
	住民参加で地域で小農を増やす
解決方法 (市民)	若者が、働きたくなる職場づくり
解決方法 (地域)	自治協の運営の見直し(数を集めるだけでなく、やりたい人、意欲のある人がやれる)
解決方法 (行政)	伊賀市を会社と見立て全員で稼ぐ

G 多文化共生

	意見
強み	大阪・京都などの都会に近い田舎→それを求める外国の方も多い
	小さい子どもの頃から外国人の方に接する機会が多いので、色々な国に興味を持てる
弱み	外国人の方がまちづくりに参画しづらい（ミーティング等）
	ルールや習慣が違うので理解できているのか？疑問に思う。
理想	このような場にも普通に外国人が参加している
	多国籍も含め新たなビジネスができる
解決方法 (市民)	交流する（行政が少し手助けしてくれたら）
解決方法 (地域)	住民自治のメンバーになってもらう
解決方法 (行政)	外国人の方も参加しやすいよう広報する（イベント タウンミーティング）

H にぎわい

	意見
強み	里山風景美しい
	伊賀米おいしい
弱み	図書館が充実してない
	農業後継者がいない
理想	観光客が訪れるような街になる（今よりも）
	古民家活用が盛んになる
解決方法 (市民)	色々なことに目を向ける 外に出る
解決方法 (地域)	協力し合う仕組み・体制づくり
解決方法 (行政)	食糧の生産を重要視